

ポジショニングで食べる喜びを伝える

POTT in 長野

北陸・信越ブロック指導者研修会

日時：2019年3月3日(日)10時～16時

参加者：39名(食事ケアに携る 看護・介護・リハビリ等)

講義・指導：迫田綾子(日本赤十字広島看護大学)

ファシリテーター 清水徳子・須野原祐一(長野市民病院)

竹内真奈美(上越総合病院) 柳澤美直代(グループホーム癒しの家)

大倉由貴・東條紀子・真柄予右子・原等子(新潟県立看護大学)

佐藤幸浩・廣瀬真由美(かみいち総合病院)



午前の講義の様子



午後の演習の様子

皆さん
生き生き！

受講者・ファシリテーター
の両者から
“楽しい研修”との声



参加者の気づき・アンケートから

・基本を忘れていた。

- ・患者の立場になることで背抜きの大切さを学んだ。
- ・手を触れることで筋肉の緊張や不安を和らげることができる、と改めて感じた。
- ・根拠をもったケアを伝えるために、1事例1事例を大切に成功体験を共有する。
- ・バスタオルの活用など、ある物を使って安楽な姿勢を柔軟に考える。

研修翌日、参加した看護師と作業療法士が
力を発揮!!

胃瘻も検討していた患者さんが“自分で食べられた”
自分で食べる力を奪っていたのは私たち…
恥ずかしい。

POTTの根底は「**看護のケアリング!**」

ケアする人ケアされる人が共に成長する